

冬 2024年 1・2・3月 外来診療科医師一覧

受付時間 午前 8:30~12:00 午後 13:20~16:50

診療科名		月	火	水	木	金	土	備考
外科	午前	稲生	奥村	稲生	伊藤	稲生	川井	※1 予約制 (14:00までの診療)
	午後						川井※1	
整形外科	午前	池永		原田※2	櫛田	原田	原田	※2 午前受付時間~11:30
	午後							
皮膚科	午前	白尾	白尾	白尾	白尾	白尾		※3 診察時間: 16:00 ※4 診察時間: 13:30~13:50 16:00~
	午後		白尾※3	手術	白尾※4	白尾※4		
形成外科	午後			深水※5				※5 診察日: 第4水曜日のみ 事前に皮膚科の受診が必要です
内科	午前	光吉	宇佐美覚	三浦	野村	清水	宇佐美覚/清水	
	午後		谷/金	金		城	清水	
血液内科	午後					清水	担当医※6	※6 第1山本医師 第2.4島津医師 第3.5片岡医師
呼吸器科	午前			山城		島		
循環器科	午前	宇佐美覚			和田	和田		
消化器科	午前	福岡		金	金	谷	金※7	※7 診察時間: 第1.3.5 9:30~ 第2.4 10:15~
	午後							
腎臓内科	午前		谷口		村瀬	村瀬		
神経内科	午前	名村		遠藤			山中/葛谷※8	※8 第1.3.5葛谷医師 第2.4.山中医師 初診診療、紹介の方は土曜日の午後受付です 午後の受付は13:20~14:00
	午後							
内分泌科※9	午前	木村	藤澤		中村		藤澤/井上※10	※9 午後の診察開始時間: 15:30~ ※10 第1.3.5藤澤医師 第2.4井上医師
	午後							
耳鼻咽喉科※12	午前	村上	村上	酒井※11	村上	村上	伊藤	※11 診察時間: 9:30~ ※12 診察時間: 14:00~ 受付時間は16:30までです (金曜日は~16:50までです) ※祝日休診 村上医師以外
	午後	稲田	木村		金子	めまい外来 村上		
眼科	午前	西村	宇佐美有	西村	西村	西村	担当医※13	診察時間: 9:30~16:00 受付時間は15:30までです 西村医師: 祝日休診 ※13 第1.3.5のみ診療 診察時間: 9:00~
	午後			手術				

祝日も診療をおこなっています。時間外の診療は一度お電話にてお問い合わせください。

【発熱等の風邪症状で診察をご希望の患者さまへ】 直接来院せず、お電話でお問い合わせください。

※本一覧は予告なく変更する場合がございます。ご不明な点は、受付までお問い合わせください。

編集発行

医療法人泰玄会

泰玄会病院

一宮市東五城字備前 1-1
TEL 0586-61-2121

たいげんかい
https://taigenkai.or.jp/



あなたの身近な健康パートナー

かわらばん



医療法人泰玄会 泰玄会病院 広報紙

第206号

特集 リハビリテーション

感染予防 特集 Vol2 冬を元気に乗り切るために!

◆ 金先生からのお便り
◆ 外来診療科医師一覧

特集 リハビリテーション

当センターでは理学療法士13名、作業療法士5名、言語療法士4名の計22名が所属しています。

医師の指示のもと患者さまの運動機能・能力回復の為、各療法士が連携してリハビリテーションを行っています。



チーム医療

患者さま・ご家族さまのご希望に配慮しながら医師をはじめ看護師や医療相談員などと定期的にカンファレンスを行い、患者さまの退院後の生活を見据えたアプローチを心がけています。

連携

医療相談員やケアマネジャーを介し、退院後のケアプランや福祉サービスのご利用についても提案します。また、入院加療後、外来通院が困難な患者さまへは訪問リハ・通所リハをご案内させていただきます。

専門性

アスレチック指導士、腎臓リハビリ指導士、3学会呼吸療法認定士の資格を取得したスタッフも在籍しており、より専門的なリハビリを提供しています。

入院患者さま

365日リハビリを提供しています。

退院に備えて

家庭・社会復帰を支援するため、必要に応じて退院前訪問指導や退院時リハビリ指導を行い、住宅環境の提案やご家族さまに必要な介助方法、自宅でのトレーニング方法を指導致します。

外来患者さま

実施日 月~土 AM8:30~11:30 / PM1:30~4:00
*休み: 日曜 (12/31、1/1~1/3) *祝祭日は行っておりません。

ごあいさつ



リハビリテーションセンター 佐野 室長 (理学療法士)

こんなとき...ご相談ください!

- ★骨折や変形性関節症などの手術後のリハビリ
- ★スポーツ障害 = 野球・バスケットボール・バレーボールなどで肩の障害や足首・ひざの捻挫・肉離れなど小学生から社会人まで広くリハビリを行っています。
- ★言語聴覚士による外来での言語訓練も行っています。

ご注意

病名がついてから運動器は150日 脳血管は180日と期限があります。算定期間内であれば介護認定を取得していてもリハビリ可能ですが、デイケアや訪問リハ等を利用されている患者さまは行えません。進行性疾患等一部例外もありますので分からない場合はご相談下さい。

[特集] リハビリテーション

リハビリテーションの対象となる疾患



脳血管疾患等

- ・ 脳血管障害
- ・ 中枢性疾患
- ・ 神経筋疾患
- ・ 高次脳障害等

廃用症候群

外科手術又は肺炎等の治療時の安静により日常生活動作能力の低下をきたした入院患者さま

運動器

- ・ 上下肢・脊椎の骨折
- ・ 上下肢の切断
- ・ 脊柱管狭窄症
- ・ 関節の変性疾患、関節リウマチ

呼吸器

- ① 急性発症した肺炎等、肺腫瘍・胸部外傷・肺塞栓・COPD等の呼吸器疾患又はその術後
- ② 慢性の呼吸器疾患により一定程度以上の重症呼吸困難や日常生活能力が低下している患者さま

がん患者

がんやがんの治療による体への影響に対する回復力を高め、残っている体の能力を維持・向上させるために受ける医療です。



<理学療法> 基本動作

病気、ケガ、高齢、障害などにより、運動機能の低下をきたした方々に対し、「起きる・歩く・座る・立つ」などの基本的な動作の獲得を目指します。

<作業療法> 応用動作

病気や怪我が原因で、生活行為が困難となった患者さまに対して、「食事・更衣・排泄・家事」などの応用的な動きの獲得を図ります。

<言語療法>

コミュニケーション・食べる

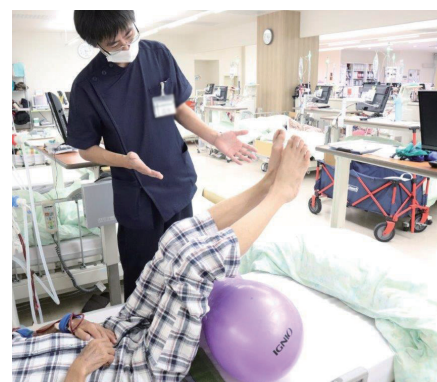
病気やケガによって「話す・聞く・食べる」といった機能の障害を抱えた患者さまの改善を目指します。

腎臓リハビリテーション(透析患者さま)について

当院では腎臓リハビリ指導士や講習会を受講したスタッフで対応しております。

慢性腎臓病の患者さまは活動量の低下や骨格筋減少が起きやすくサルコペニアやフレイルに陥りやすいと言われており、運動療法が注目されています。当院では透析患者さまに対して透析中の運動療法を提供しています。運動負荷は軽度ですが、運動不足の解消や運動習慣の獲得に繋がります。

*透析中の運動療法はガイドラインに沿って行っていますので、ご希望の方は一度リハビリ・透析スタッフへ実施可能な有無をご確認ください。



感染予防特集 ~冬を元気に乗り切るために!~

Vol.2 冬にかかりやすい感染症の予防と対策

①インフルエンザ

流行期は11月~3月で、主な症状は突然な高熱(38℃以上)、頭痛、筋肉痛、のどの痛み、鼻水、胃腸症状など。風邪に比べて急激に高熱や関節痛など全身症状が強く現れます。とくに子どもさんや高齢者はインフルエンザ脳症や肺炎などの合併症が起こる場合もあるので、適切な治療を受けましょう。

<インフルエンザと新型コロナ 同時流行どうする>

特に重症化リスクのある方(小学生以下の子供・妊婦・基礎疾患がある方・高齢者)は速やかに発熱外来やかかりつけ医を受診しましょう。受診した医療機関で新型コロナウイルスとインフルエンザの検査を受け、診断に応じて治療を受けましょう。自宅療養となったときに備えて以下のものを準備しておくといでしょう。

- ★ 解熱鎮痛薬
- ★ マスク・アルコール消毒液
- ★ 水分補給できるもの(経口補水液など)
- ★ 数日分の食料、飲料、日用品 など



②感染性胃腸炎

・ノロウイルス

流行期は11~3月で、感染経路は主に2つ。1つは食べ物を介した感染で、もう1つは人から人への接触感染と飛沫感染です。主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、微熱(38℃以下)などです。

・ロタウイルス

流行期は2月~4月ごろで、乳幼児や子どもに多く、主な症状としては激しい嘔吐や下痢、39℃以上の発熱です。便の色が白色になることがあり、大量の水様性の下痢が出ることから脱水に陥りやすく注意が必要です。



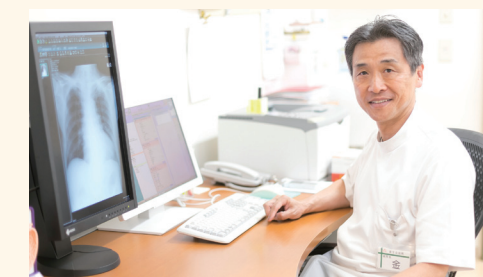
感染症を予防する方法

- ◎予防接種を受ける・・・インフルエンザや新型コロナの予防接種を受けましょう
- ◎手指消毒の励行・・・マスク着用を徹底しましょう
- ◎日ごろから免疫力を高める・・・栄養バランスの良い食事・十分な睡眠・ストレスをためないようにしましょう

(出典: サラヤHP・NHK健康ch)

金先生からのお便り-インフルエンザにご注意を-

新型コロナウイルス感染症の収束を待たずに、インフルエンザの流行がやってきているようです。ともに、強い風邪症状を主体としたウイルス感染症ですが、インフルエンザと診断された場合には、数多く使用されてきた抗インフルエンザ薬の投与により症状の軽減が期待できます。当院では、発熱など感冒症状のある方にコロナ/インフルエンザ同時検出抗原キットを用いた検査を行っています。お電話での予約を承っておりますのでご相談ください。



金院長

発熱時の予約・お問い合わせ ☎0586-61-2121